

No.	頁	意見概要	教育委員会の考え方	意見全文（別紙1）の該当番号
1	10	目標や達成期間を決めていることは携わる人にとってわかりやすいと思う。	計画期間内に目標を達成できるよう、子ども読書活動の推進に努めます。	2-1
2	12	ブックスタートの実施は保護者への読書活動への入り口にもなり子どもへの読み聞かせなどにもつながる。これから仕事を終えた方が多くこの事業に参加できたら有効な時間になる。	ブックスタートには、読み聞かせの講習を受けたボランティアの方々に協力していただいています。今後も様々な経験をもつ方に参加していただけるよう、事業を進めていきます。	2-2
3	15	昼休みに読み聞かせのボランティアをおき、読み聞かせ等を司書と相談し実施する。また学校の読書週間に、本に出てくるメニューを給食に取り入れて、図書委員が給食時間の放送で色々解説するようなことを中学校でできるのではないかな。	ボランティアが昼休みに司書と連携しながら、読み聞かせをしている学校はあります。給食メニューと本との連携（「給食コラボ」と呼んでいます）も多くの小中学校で実施しているところです。ご意見にあるように、中学生がメニューにまつわる本の朗読や紹介などを行う学校もあります。今後も、学校事情に合わせて様々な読書推進の取組をすすめていきます。	2-3
4	18	小中学生は学校が一番身近な学びの場なので、各学校の図書室や、学級文庫をもっと支援して活発にさせていただきたい。子供の通う小学校や児童館の図書室は、何年も前の古い蔵書が多く、限られた新刊は人気で順番待ちが多いようだ。蔵書の新陳代謝を進めていただきたい。	従来から、見た目に古い本や時代にあわない情報の本を、子どもにとって魅力的な本や新しい情報の本へ整えるよう支援してきました。今後も、限られた予算の中で、より充実した蔵書になるよう研修等を通じて着実に新陳代謝を進めていきます。また、区立図書館との図書貸借などの連携も積極的に活用していきます。	1
5	21	春休みに調べ学習のために下井草図書館を利用した。学習の息抜きに図書コーナーへ足を運び、司書の方が提案されたおすすめ本を手に取り、良い物語と出会うこともできた。	当初の来館目的が読書ではない子どもも読書に導いていけるよう、職員の働きかけ等に取り組んでまいります。	3-1
6	21	自習室の席をもっと増やせば学生は足を運びやすくなる。カフェや飲食可能コーナーがあれば滞在時間も増えると思う。自習室の利用人数が増加すれば、時間制限を設ける、カード保持者のみなど弾力的な運用を検討していただきたい。	中央図書館では、大規模改修によりカフェを新設し、閲覧席を大幅に増加することで、学生の利用者が増えています。今後も、老朽化した図書館の改修に合わせて、座席の確保等について検討していきます。	3-2

7	21	もう少し子供たちが声を出しても良いような、図書館が楽しい空間になると良い。	図書館は静かに読書をする場所だけではなく、誰もが気軽に利用できる楽しい交流空間であることを目指しています。今後の図書館の改修・改築においては、フロアを分ける等により子どもたちにとって居心地のよい場所となるよう、環境整備に努めてまいります。	4-2
8	21	図書館の中で子ども向けの書棚の位置を、できれば入口近くに配置換えすることが望ましい。また、図書館員は率先して子どもに場所を示してほしい。	児童コーナーの配置についてのご意見は、今後の改修・改築時の参考といたします。また、子どもが利用しやすいよう、館内サインの見直しや職員からの声かけにも努めます。	5-1
9	22	1歳、2歳、3歳くらいまで1冊絵本をプレゼントしてもらえたら嬉しい。	区では、フォローアップ事業として、図書館や児童館では、あかちゃん向けおはなし会やわらべ歌の会、保護者向けの絵本に関する講座などを実施し、支援を行っています。セカンドブック、サードブックとしての特定の絵本をプレゼントする事業については現在のところ予定していません。 お配りしているブックリストを参考にさせていただくほか、図書館で直接色々な絵本に触れながら、絵本を選んでいただけたらと思います。	4-1
10	23	アメリカの図書館では、アプリで期間中一定の読書冊数を記録し申請すれば、図書館のTシャツの全員プレゼントや、抽選で協賛企業のクーポン券などが当たったりした。また、ティーン向けの読書会、作文クラブ、宿題ヘルプなど企画も多彩だった。図書館のボランティアが成績の単位として認められており、中高生が司書とともに企画やイベントの手伝いをしていた。参加型のイベントも読書活動に繋がっていくのではと思う。	中高生世代に図書館に足を向けてもらうような企画を工夫するとともに、中高生が企画に参加できるような機会を作るなど、いただいたご意見も参考にしながら取組を進めてまいります。	3-3
11	25	図書館は、定期的に冊子か新聞を作り図書の紹介、年齢を問わぬお勧め本の紹介文を募集して掲載し、図書館に置くだけでなく区内の学校児童に配布してほしい。	図書館では、毎月図書館だよりを発行するほか、年代別のブックリストの作成も行っています。子どもたちからの紹介文の募集については、館内での展示としていますが、図書館だよりへの掲載についても検討していきます。また、ブックリストについては、今後区内小中学校での配布を計画しています。	5-2